

🏠 たちばな 3月号

〒793-0065 西条市榎木 54-1
 TEL (0897) 57-9543 FAX (0897) 57-6221
 eメール tachibana-k@saijo-city.jp

令和6年3月1日
 橋公民館発行
 通巻519号

橋校区の人口(1/31 現在)
 総人口 1,779人 (± 0)
 (男 860人) (+ 2)
 (女 919人) (- 2)
 世帯数 828 (± 0)

カラー版は西条市役所ホームページで
 ご覧になれます。

ギャラリー一橋

3月、4月はサークル
 『クラフト籠ひまわり』
 の作品を展示します。
 ぜひご覧ください。



1/19(金) 橋小学校5年生がさわやかクラブの方々に教わりながら『竹ぼうき』作り。力を込めてしっかり束ね、丈夫なほうきを作り上げました。マイほうきでもっと美しい橋小学校にしていこうぞ！



竹ぼうきづくり



昔からの遊び

1/25(木) 橋小学校1,2年生がさわやかクラブの方々と一緒に昔からの遊びを体験しました。コツを教えてもらいながら何度も挑戦し、できた時には満面の笑顔と大きな歓声が上がっていました。



【けん玉】



【お手玉】

3月の行事予定

日	曜	公民館関係・地区行事
2	土	防災士定例会 (19:00~)
4	月	休館日
6	水	民生児童委員定例会 (19:30~) 防犯協会定例会 (19:30~)
8	金	さわやかクラブ世話人会 (13:30~)
11	月	休館日
15	金	西条西中学校 卒業証書授与式
18	月	休館日
19	火	交通安全協会定例会 (19:30~)
20	水	休館日 (春分の日) 🇯🇵
21	木	いきいき橋「健康教室(転倒予防体操)」
22	金	橋小学校 卒業証書授与式
25	月	休館日

3月 カワセミ号 (移動図書館)

橋公民館 7日(木) 13:25~13:55

社会福祉協議会 橋支部より

『いきいきたちばな』ご案内

日時: 3月21日(木) 9:30~
 場所: 橋公民館 2階ホール
 講演: 「転倒予防体操」について
 講師: 済生会西条病院理学療法士 渡部 俊郎先生

動きやすい服装でお越し下さい。

どなたでも参加できます。ぜひ、お問い合わせでご参加ください。

タウンミーティング開催

2/1(木) 市長、教育長と地域の方々に参加していただき「橋校区タウンミーティング」を開催いたしました。テーマは、①橋校区の子育て環境の変化、②橋校区の持続可能な発展(人口増加対策)を掲げ、活発な意見交換を行いました。



『子育て環境の変化について』は、令和4年度に実施した学校規模適正化アンケート結果について説明があり、今後、審議会を設置し、検討を重ねていくとのことです。これに対して、地域における小学校の役割は大きい。検討に当たっては、地域とのかかわりを継続できるよう配慮してほしいとの意見がありました。

『橋校区の持続可能な発展について』は、人口増加対策として、雇用の創出のため、企業誘致や企業留置の推進、さらに移住促進に懸命に取り組んでいる。との説明がありました。これに対して、西条に住みたいと考える人が、住み続けることのできる、まちづくり(教育や就労の場の確保など)を行ってほしい。また、移住を希望する人が就労しやすい環境づくり(特に農業、林業など)をお願いしたい。との意見が述べられました。



橋の未来を拓く会

1/30(火) 12月に行った自治会長さんとの意見交換をもとに、今後検討すべき内容等について協議を行いました。また、橋小学校への出前講座などTMHの活動状況について報告がありました。



3月
ローソン
移動販売

6日(水)	13日(水)
20日(水)	27日(水)

- 15:00~15:15 野々市集会所
- 15:20~15:35 榎木西
- 15:40~15:55 榎木集会所
- 16:00~16:15 西泉中
- 16:20~16:35 西泉東(民部さん)
- 16:40~16:55 西田集会所
- 17:00~17:10 相生

二月の俳句

冴返る夜空の星に雲一つ
 恵方巻口いっぱいの英気かな
 山寺や大護摩焚きて厄落とし
 閉店の貼紙揺らす涅槃西風
 好物はさつま芋なりマルチーゾ
 蒼天や冬の石榴の二つ朽ち
 柚子味噌の欠かすことなき朝の膳
 お葉漬の酸味浸み入る二月尽
 七輪にレモン片手に牡蠣待つ子
 さくら草
 ヒヤシンス
 お父にやん

『大人のピアノ教室』発表会

日時: 3月24日(日)
 10:30~ 開演
 場所: 橋公民館 2階ホール

ピアノ教室発表会を行います。メンバー一同はりきって練習を頑張っています。コロナの制限もなくなったので、今年はお客様を迎えることになりました。まだまだ未熟な演奏ではございますが、ご近所お誘いあわせて、ご来場いただけますと幸いです。

市道拡幅工事（坂元）

令和元年度から行われている坂元西部の市道橋8号線の拡幅工事（第2期）が、今年度は36mに渡り延長され道路幅が5mになり、車両や児童が安全に通行できるようになりました。



橋地区の活断層調査

愛媛県が2月～3月に橋小学校西側にて活断層調査を実施しています。この工法は地表面から掘削し断面から活断層の動きを調査し、過去から現在に至るまでの変異を調査し、地震予測等に役立ちます。



活断層調査をしています

「過去の調査例」

西条市土居地点では、川上断層の一部である小松断層を対象に、沖積面上に認められる比高1m前後の低断層崖の延長部でトレンチ調査を実施し、1万年前以降の堆積物に少なくとも4回の断層運動を確認することができました。これらをもとに地震想定につなげます。



木造住宅の耐震診断申込を追加募集いたします

— 巨大地震による倒壊から命を守るため、耐震補助制度の活用を —

今年初めに、石川県能登半島地震が発生しました。

多くの木造住宅が倒壊被害に見舞われております。

本市も、いつ大きな地震に見舞われるかもしれません。

そのために、ご自宅が地震に対し、どの程度耐えられるか知り対策することは大切です。

本市では、木造住宅耐震改修に必須となる、建物の耐震調査を追加募集しております。

※耐震診断の負担額は3,000円です。

耐震診断に建築士がご自宅を訪問、診断いたしますが、診断結果に時間をいただく場合がございます。

耐震診断に、建築士が訪問、建物の耐震性を調査します。

【対象となる住宅】 昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て木造住宅

【申込期間】 募集中～令和6年3月29日（金）

【問合せ先】 市庁舎新館3階 建築審査課 建築審査係 TEL0897-52-1558



橋の歴史・文化財探訪より

いしかわげんろく まえがみじぼち 石川源六と前神寺墓地

高尾城の城主であった石川源太夫は嫡男源吾とともに中野の木挽原に呼び出され、高峠城側の陰謀により無残な最後を遂げたのは、天文20年（1551）5月4日で天正13年（1585）の天正の陣の34年前のことでした。この戦いより丁度100年後の貞享2年（1685）に朔日市の宝蓮寺住職尊清によって書き記された『澄水記』には、次のような記述があります。

「石川源太夫の二男に源六という者あり。源太夫討たれて後、前神寺に入り弟子となりのち秀海と号すると見えたり。これ当寺世代の内、元和4年（1618）に寂せる照海なるか」とあります。父・源太夫と兄・源吾が謀殺された時はまだ10才にも満たなかった源六まで殺めるに忍びず、高峠城勢は彼を寺に預けたと言われます。その後、源六は精進し立派な僧となり、父や兄の霊を弔い、更に天正の陣で散華した人々の靈魂を鎮め、祈りの日々を送りながら秀海または照海と号し、やがて前神寺の別当（寺務を統括した最高の僧官）として崇められました。



前神寺墓地：たくさんの宝篋印塔と五輪塔
上段左より2番目の五輪塔が秀海（源六）の墓

天保13年（1842）の『西条誌』に、「元和年中（1614～1625）の（住職）照海より当住〔天保年中（1830～1843）の住職〕大年迄15世、歴然として法脈明白に伝はる…。」また「四国巡礼第64番の本札所は常住山（成就社）なり。深山にて、常時に登り難ければ、この前神寺を前札所とす。御詠歌というものありて、巡拝の者之を唱う。」とあります。

前は神うしろは仏極楽の
よろづの罪をくたく石つち

『西条誌』に、元和年中（1614～1625）石川主殿頭当地知行（土地を支配し治めること）の時、また此地石川主殿頭殿拝地（土地を授かること）の時、という記述があります。しかし、この人の事跡が一つも残っていないのは不思議です。源太夫・源吾・源六でこの石川家は絶えてしまったのでしょうか。一族の中に後年、石川織部正を名乗る人物がいたとしたらどうでしょうか。大胆な推理ですが石川織部正＝石川主殿頭と考えるときさまざまな疑問が解けてくるような気がします。そうであれば、氷見や橋に残された業跡なども理解できるのです。

慶長年中（1596～1614）にこの地に移り、覚法寺を建立し、藤原の城に居住し、野々市に牛頭天皇の塚を建て、野々市に葬られる（『西条誌』『覚法寺由緒記』など）。氷見・橋の土地勘や住民との深いつながりがなければ成し得ないことです。旧西条市の旧い石川氏については今後さらに研究を進めたいと思います。